

事務事業評価シート

事業番号 No. 24		事務事業名 老人クラブ連合会運営費補助金		所管部課 高齢者支援課						
基礎情報	事業開始時期【1】	合併前		実施形態【2】 ☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ その他 ()						
	根拠法令等【3】	老人クラブ運営費補助金交付要綱								
	総合計画【4】	基本目標	3 笑顔で自分らしく暮らせるまち	基本施策	8 いつまでも健康で元気に暮らすために	施策 8-2 高齢者の社会活動や生きがいがづくりの充実				
	個別計画【5】	計画	西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第9期)	施策等①	生きがいがづくりの支援	施策等②				
事務事業の概要	事務事業の目的と目指す成果【6】	老人クラブ及び東京都老人クラブ連合会と連携し、生きがいと健康づくりに係る事業の調査・研究、啓発のための広報活動、生きがいと健康づくりに資する事業、催物、研修などの事業等により、高齢者の社会参加を促進する。								
	事務事業の内容・実施方法等／補助の概要【7】	【補助の概要】 ■支払方法：概算払 ■国・都補助の有無：あり((都)老人クラブ区市町村支援事業補助金) ■上乗せ補助：あり ■横出し補助：あり(行事活動費) ■補助対象：西東京市高齢者クラブ連合会(※本市では、老人福祉法に基づく老人クラブを「高齢者クラブ」という名称で活動している) ■補助額：①から④までの合計額 ①一般事業費(理事会、常任理事会、総会、会報発行等)：会員数×67円＋216,000円 ②特別事業費(施設訪問、市内清掃、女性部会、5ブロック研修会等)：180,000円 ③健康づくり活動事業費(輪投げ、ペタンク、グランドゴルフ、健康づくり大学、健康講座受講等)：180,000円 ④行事活動費(芸能大会・カラオケ大会等)：加入クラブ数×20,000円 ■補助対象経費：報償費、旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料等(ただし交際費、食糧費等を除く) ■特記事項：1クラブ当たり年額24,000円の負担金を徴収し、補助対象外の活動経費に充てている。								
事業費データ	項 目	令和5年度(決算額)		令和6年度(決算額)		令和7年度(決算見込額)		令和8年度(予算額)		単位
	事業費計【8】	1,132		1,158		1,113		1,171		千円
	財源内訳	国庫支出金・都支出金		170		174		171		
		その他()								
		一般財源		962		984		942		
	人件費計【9】	671		744		744		744		
	内訳	正規職員	0.10 人	671 千円	0.10 人	744 千円	0.10 人	744 千円	0.10 人	744 千円
会計年度任用職員		人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	
総コスト	1,803		1,902		1,857		1,915			
活動実績【10】	項 目	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		令和 8 年度		単位
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	
	①加入クラブ数	-	24	-	25	-	23	23	-	クラブ
②会員数	-	1,127	-	1,213	-	1,147	1,150	-	人	
成果指標【11】	項 目	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		令和 8 年度		単位
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	
	活動回数	-	-	-	56	-	64	70	-	回
	①【成果指標の説明】	西東京市高齢者クラブ連合会の活動回数を成果指標とし、連合会の活動状況を把握する。								
②【成果指標の説明】										
事業環境等	事業実施においての課題点と改善に向けての取組【12】	廃止団体の増加により、連合会加入団体も減少している。近隣市の高齢者クラブ連合会と情報交換を行い、会員数が増えた団体の事例を共有するなど、会員増強のための具体的な検討を行った。								
	他団体の実施状況【13】	多摩26市中、全自治体が補助金交付を実施。行事活動費に補助している自治体は国分寺市、清瀬市等。								
	代替・類似サービスの有無【14】	☐ 有								
		☒ 無								

【検証項目】

検証項目 【15】			一次評価	二次評価	本部評価	
	必要性	事業の実施が国・都の法令等で定められている	非該当	非該当		
		市が主体となって実施しない場合、市域内における当該サービスの提供が不十分になる恐れがある	該当	該当		
		現下の社会経済情勢に見合った事業である	該当	該当		
	有効性	成果指標の達成状況はどうか	1	1	0	/9
		上位施策等の目的の達成に向けて事業の対象は適切か	3	3		
		上位施策等の目的の達成に向けて事業の内容・実施方法は適切か	3	1		
	効率性・経済性	業務プロセスに改善の余地はないか	2	2	0	/9
		投入したコストが活動実績に見合っているか	2	2		
		国・都の補助金や受益者負担など、一般財源以外の財源確保がされているか	3	3		

【一次評価・二次評価】

一次評価 【16】	必要性	「西東京市高齢者保健福祉計画」の施策として「生きがいづくりの支援」を位置付けており、高齢者の社会参加と生きがいづくりを支援するため、高齢者クラブ連合会の活動費の一部を補助する。	二次評価 【17】	必要性	各団体が単独では検討できないような課題等に対し、様々な意見を出し合い、全体で推進していけるようにすることが求められていることを踏まえると、一般事業、特別事業、健康づくり活動事業の必要性は一定理解できる。しかし、連合会として、行事活動を別途補助金を使って実施することの必要性については検証する必要がある。
	有効性	クラブ数の減少と会員の高齢化により、加入クラブ数と会員数は減少しており、活動回数も減少傾向にある。補助は適切に行われており、横出し補助である行事活動費への補助については、高齢者の生きがいを推進することにつながっており、老人クラブ連合会の活動を促進し会員を維持するために必要である。		有効性	高齢化が進む中にあることは、将来的な会員数の減少や高齢者クラブ数自体の減少も危惧されることから、新たに高齢者の一員となった方々の意見を聞くなど、市、連合会が連携し、老人クラブの在り方等について検討する必要がある。連合会の行事活動については、実施規模等を検討すべきである。
	効率性・経済性	補助金交付のため会員の居住確認や他クラブとの重複加入等を確認する業務に時間がかかっているため、改善を図りたい。補助金は都が指定する内容に基づき適切に使用されているが、高齢者クラブ連合会は都補助の額が少なく、市の上乗せ分が多いことが課題である。		効率性・経済性	補助申請者、職員ともに、手続きが煩雑になっていることから、双方にとって効率的な補助制度となるよう、他自治体の取組も踏まえ、申請や報告方法の見直し等が必要である。

【外部評価】

評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等【18】	

【行革本部評価】

	コストの方向性	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
	総合評価	

改善の方向性と今後のスケジュール【19】	
----------------------	--